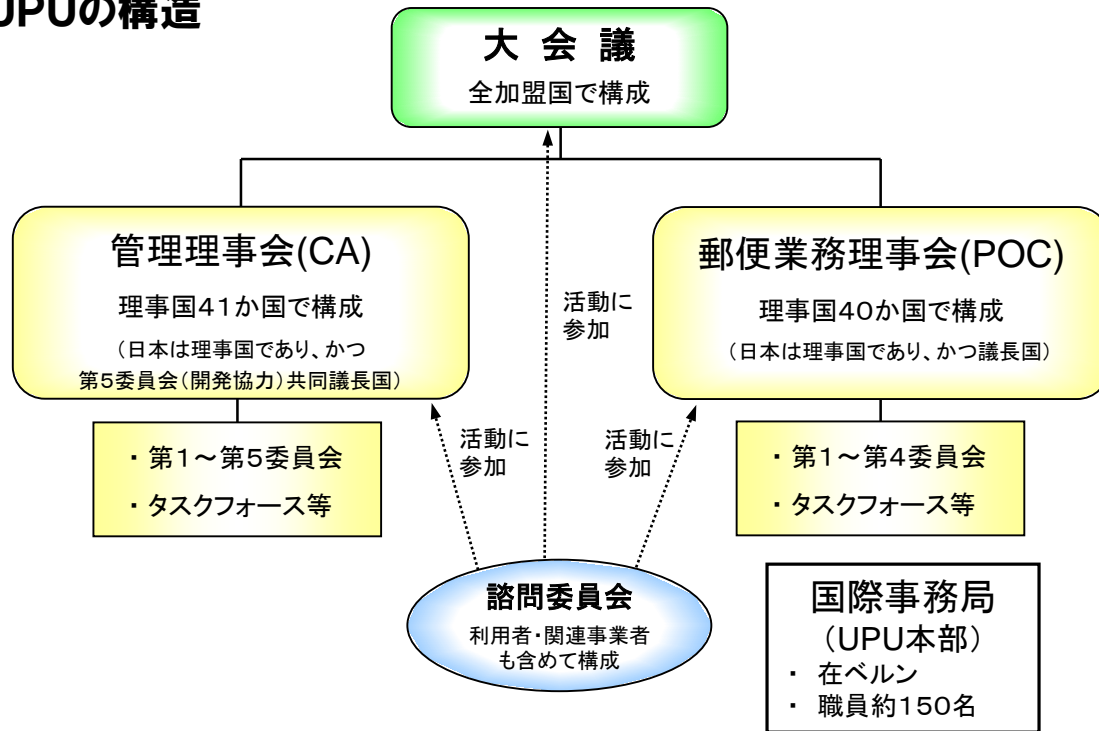


万国郵便連合(UPU)の概要

- ① 万国郵便連合(UPU)は、郵便業務の効果的運営によって諸国民の通信連絡を増進し、文化、社会及び経済の分野における国際協力に寄与することを目的として1874年に設立。1947年から国連の専門機関。
- ② 現在、192カ国・地域が加盟(日本は1877年に加盟)。

◎ UPUの構造



- 万国郵便大会議(大会議)
 - ・ 全ての加盟国が参加するUPUの最高意思決定機関。
 - ・ 原則として4年に1回開催。
 - ・ UPU条約等の改正、常設機関の理事国選挙、事務局長・次長選挙、次回大会議までの研究課題等に関する決議、決定、勧告等を行う。
- 管理理事会(Council of Administration)
 - ・ 大会議から大会議までの間におけるUPUの事業の継続を確保するための常設機関。
 - ・ 41の理事国で構成。
 - ・ 原則として年2回、ベルンで会合を開催。
 - ・ 規制、組織等に関する検討が任務。
- 郵便業務理事会 (Postal Operations Council)
 - ・ 郵便業務、郵便金融業務等の技術上・業務上・経済上等の諸問題を共同して研究するための常設機関。
 - ・ 40の理事国で構成。我が国は創設当初から理事国。
 - ・ 原則として年2回、ベルンで会合を開催。
 - ・ 国際郵便に関するルール作りが任務。

◎ 日本の主な貢献

- 1957年以降、継続して郵便業務理事会の理事国。
- 最大分担金(50単位、約2億4千万円)を負担する4大国(日・米・英・仏)の一角。
- 2016年の第26回大会議(イスタンブール)において、POC議長国に再選。(実際に議長を務めるのは、日本郵便株式会社 目時政彦執行役員。)